

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9386 URL <http://www.n-concept.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 仁科 善生 (TEL) 03-3507-8812
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	5,010	11.9	931	11.0	793	△27.1	497	△24.8
25年12月期第2四半期	4,477	19.8	839	47.2	1,088	97.9	661	99.9

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 471百万円(△34.8%) 25年12月期第2四半期 724百万円(120.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	114.03	—
25年12月期第2四半期	151.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	13,508	4,711	34.9
25年12月期	13,651	4,371	32.0

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 4,711百万円 25年12月期 4,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年8月12日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	9.7	1,860	10.4	1,620	△20.9	1,000	△18.2	229.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期 2 Q	4,366,000株	25年12月期	4,366,000株
② 期末自己株式数	26年12月期 2 Q	70株	25年12月期	30株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期 2 Q	4,365,956株	25年12月期 2 Q	4,366,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年8月18日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、1-3月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要も手伝って堅調に推移しました。4月以降は引き上げの反動による景気の一時的な停滞を余儀なくされましたが、政府の経済対策や、雇用回復などが景気を下支えし、景気減速に下げ止まる兆しがうかがわれました。

一方、世界に目を向けますと、米国では、年初は寒波等の影響で一時的に景気が減速したものの、その後はシェール革命等を背景とする製造業の復活の動きが顕在化する中、雇用環境が改善し、個人消費も拡大する等、景気回復の足取りが加速しました。欧州では、ユーロ高の定着やアジア諸国等の景気伸び悩みにより輸出が弱含むなど、回復傾向は続いているものの、回復のペースは緩慢なものとなりました。新興国においては、経済成長の勢いに陰りが出ておりますが、中国の経済対策の効果等により景気減速に歯止めがかかる兆しがみられました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、輸出が、円安の定着、米国経済の回復、アジア経済の下げ止まり等を背景として順調に増加しました。輸入は、円安により輸入価格が上昇するという厳しい環境の中、国内需要の回復に支えられる形でこれまで堅調に推移してきましたが、ここにきて消費税率引き上げに伴う景気減速などを受けた停滞がみられました。一方、三国間取引は、東南アジアやヨーロッパ等での減少に歯止めがかかり、回復に転じました。輸出、輸入、三国間取引の合算でみると当社グループ全体での取扱高は順調に増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,010百万円（前年同期比11.9%増）となりました。また、利益面では、営業利益は931百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益は793百万円（前年同期比27.1%減）となり、法人税等差引後の四半期純利益は497百万円（前年同期比24.8%減）を計上しました。

なお、経常利益並びに法人税等差引後の四半期純利益が前年同期を下回った理由は、当第2四半期連結累計期間におけるデリバティブ評価損14百万円（前年同期は248百万円のデリバティブ評価益）と為替差損20百万円（前年同期は115百万円の為替差益）が発生したことから、営業外費用は147百万円（前年同期は132百万円）と微増にとどまったものの、営業外収益が9百万円（前年同期は381百万円）と大幅な減少に至ったためであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円減少（1.0%減）し、13,508百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ255百万円減少（7.4%減）し、3,215百万円となりました。現金及び預金107百万円の減少、売掛金54百万円の減少及び、その他の流動資産が94百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ116百万円増加（1.1%増）し、10,286百万円となりました。タンクコンテナ（純額）100百万円の増加及び、その他の有形固定資産が19百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ230百万円減少（6.8%減）し、3,173百万円となりました。買掛金が55百万円、短期借入金32百万円、1年内返済予定の長期借入金35百万円、リース債務が38百万円増加したものの、1年内償還予定の社債が82百万円、未払法人税等が272百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少（4.3%減）し、5,623百万円となりました。リース債務が284百万円増加したものの、社債が90百万円、長期借入金430百万円、その他の固定負債が23百万円減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ340百万円増加（7.8%増）し、4,711百万円となりました。利益剰余金366百万円の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高、利益額は、年初以降取扱高が堅調に増加したことと、為替が想定より円安水準で推移したことにより、予想を上回る結果となりました。これを受けて、平成26年2月13日の決算短信で公表しました平成26年12月期通期連結業績予想及び平成26年12月期通期個別業績予想を、下表のとおり修正いたします。

なお、業績見通しの前提となる為替相場につきましては、前回発表予想では1ドル98円00銭を想定しておりましたが、今回修正予想においては1ドル100円00銭を想定しております。

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,590	1,770	1,560	960	219.88
今回修正予想(B)	10,000	1,860	1,620	1,000	229.04
増減額(B-A)	410	90	60	40	—
増減率(%)	4.3	5.1	3.8	4.2	—
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	9,113	1,685	2,048	1,222	280.04

平成26年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	1,510	930	213.01
今回修正予想(B)	9,910	1,530	934	213.93
増減額(B-A)	410	20	4	—
増減率(%)	4.3	1.3	0.4	—
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	9,021	1,987	1,182	270.80

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,068,209	1,961,196
売掛金	1,015,912	961,055
その他	388,896	294,253
貸倒引当金	△1,451	△748
流動資産合計	3,471,566	3,215,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	737,139	723,507
タンクコンテナ(純額)	7,372,333	7,472,854
土地	1,568,801	1,568,801
その他(純額)	278,571	298,259
有形固定資産合計	9,956,845	10,063,422
無形固定資産	98,017	104,023
投資その他の資産	115,495	119,531
固定資産合計	10,170,358	10,286,977
繰延資産	9,521	5,512
資産合計	13,651,446	13,508,247
負債の部		
流動負債		
買掛金	636,196	691,812
短期借入金	70,000	102,000
1年内返済予定の長期借入金	1,378,989	1,414,159
1年内償還予定の社債	324,600	242,400
リース債務	109,926	148,048
未払法人税等	570,101	297,950
賞与引当金	20,504	20,882
その他	293,069	255,761
流動負債合計	3,403,389	3,173,015
固定負債		
社債	230,000	140,000
長期借入金	4,744,305	4,313,545
リース債務	594,305	878,869
退職給付引当金	64,951	70,728
その他	243,418	220,122
固定負債合計	5,876,981	5,623,265
負債合計	9,280,370	8,796,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,440	600,440
資本剰余金	526,599	526,599
利益剰余金	3,179,838	3,546,722
自己株式	△62	△127
株主資本合計	4,306,815	4,673,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△795	△790
為替換算調整勘定	65,055	39,121
その他の包括利益累計額合計	64,260	38,331
純資産合計	4,371,076	4,711,966
負債純資産合計	13,651,446	13,508,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,477,194	5,010,208
売上原価	3,085,680	3,490,089
売上総利益	1,391,514	1,520,118
販売費及び一般管理費	552,323	588,991
営業利益	839,190	931,127
営業外収益		
受取利息	1,295	260
為替差益	115,999	—
デリバティブ評価益	248,227	—
受取家賃	1,988	2,357
受取保険金	9,465	3,733
受取補償金	3,086	443
その他	1,337	2,702
営業外収益合計	381,401	9,498
営業外費用		
支払利息	114,580	101,489
為替差損	—	20,592
その他	17,934	25,392
営業外費用合計	132,515	147,474
経常利益	1,088,076	793,151
特別損失		
固定資産除却損	3,661	—
訴訟損失引当金繰入額	14,594	—
会員権売却損	5,278	—
特別損失合計	23,533	—
税金等調整前四半期純利益	1,064,542	793,151
法人税等	402,646	295,287
少数株主損益調整前四半期純利益	661,896	497,863
四半期純利益	661,896	497,863

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	661,896	497,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	5
繰延ヘッジ損益	24	—
為替換算調整勘定	62,163	△25,934
その他の包括利益合計	62,323	△25,929
四半期包括利益	724,220	471,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,220	471,934
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,064,542	793,151
減価償却費	337,262	353,050
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△645
賞与引当金の増減額(△は減少)	859	817
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,008	5,777
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	14,594	—
受取利息	△1,295	△260
支払利息	114,580	101,489
社債発行費償却	4,504	4,009
為替差損益(△は益)	△130,756	17,753
デリバティブ評価損益(△は益)	△248,227	14,511
有形固定資産除却損	3,661	—
会員権売却損益(△は益)	5,278	—
売上債権の増減額(△は増加)	△109,856	18,353
仕入債務の増減額(△は減少)	103,793	80,556
その他	△26,735	28,537
小計	1,137,214	1,417,100
利息の受取額	1,692	666
利息の支払額	△119,564	△104,900
法人税等の支払額	△279,429	△559,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	739,913	753,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	98,180	99,420
有形固定資産の取得による支出	△581,432	△72,420
有形固定資産の売却による収入	88	—
無形固定資産の取得による支出	△420	△317
敷金及び保証金の差入による支出	△13,317	△1,719
敷金及び保証金の回収による収入	502	—
会員権の取得による支出	△3,619	—
会員権の売却による収入	17,437	—
その他	—	△2,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,581	22,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	230,000
短期借入金の返済による支出	△303,000	△198,000
長期借入れによる収入	1,000,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△612,510	△743,858
社債の償還による支出	△172,200	△172,200
リース債務の返済による支出	△51,191	△65,699
配当金の支払額	△130,341	△130,869
その他	△9,305	△17,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,451	△747,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	107,563	△32,535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	486,347	△5,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,298,902	1,956,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,785,249	1,951,552

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。